

餓鬼

「こらガキが！」
この「ガキ」は「餓鬼」
という仏教用語です。

餓鬼とは、この世の行いによつて生まれ変わる六つの

世界の一つ餓鬼道に住む住人ことです。他の世界は、天・

人・修羅・畜生・地獄と、これを六道輪廻といっています。

餓鬼道には、どのような人が堕ちるのでしょうか。そ

れは、嫉妬深かったり、物惜しみをしたり、あれが欲しい

これが欲しいと貪る行為をした者です。

餓鬼道の様子を餓鬼草子などの絵巻物などで表現さ

れています。飲食がでず、飢えや渴きに苦しむ世界。

住人は、あばら骨は浮き出て、腹は出ている。障子や襖

の骨を餓鬼骨というのは、この姿からきています。時々、

食べ物が出てきて、食べようとすると口の前で炎に変わ

り食べることが出来ないという苦しみを延々と繰り返

す世界です。

子供がおもちゃ売り場の前に行って泣きわめく姿、わ

がままをいう姿、これを見て餓鬼と用いられるようにな

りました。自分さえよければと思うもの

は餓鬼かもしれません。でも、それにす

ら気づかない餓鬼も多いかもしれませ



有る事難し
ありがたし
やる取

こんなところに 仏教用語

身近な仏教用語
を紹介して
います。

覚悟

「お覚悟はよろしくて」娘
の大好きなプリキュアの決
め台詞です。この覚悟を広辞

苑で引くと

覚悟：①仏教 迷いを去り、道理をさとること。

② 知ること。③ 記憶する事、暗誦する事こと

④ 心に待ち設けること。心がまえ。

⑤ あきらめること。観念すること。

と、このようになっていきます。数字の順番は語源に近い物か
ら表示されていますので、我々が普段の生活で用いる覚悟Ⅱ
心を定める、あきらめるの意味は語源から一番遠い用法で
す。先程のプリキュアの用法は、⑤の心がまえとして用いて
います。

「覚」は、仏教ではさとり、目覚めるの意で用いられます。

悟りを開いたブツダを覚王、覚雄などと經典で表記されま

す。覚には仏教の目的が含まれています。迷いから目覚める

事、心理に覚めることを目的とするのです。そして、仏の一

員である阿弥陀如来の目的は、目覚め
ることが出来ない者をすくい目的
としていのです。

